

コリント人への手紙 第一 1:11-4:21 教会内の分裂

おはようございます。まず初めに、今日こうして説教できる機会を与えていただいたことに感謝するとともに、とても光栄に思います。今日はコリント人への手紙第一の学びを続けて、1:10から4章の終わりまでを見ていきたいと思います。他の説教ではこの箇所を細かく分けて見ますが、今日は2週間前にデクスターさんが説教してくださった、この4章にまたがるテーマである、教会内の分裂と不一致について見ていきたいと思います。ではまず**コリント人への手紙第一 1:10-13**を読みましょう。「10. さて、兄弟たち、私たちの主イエス・キリストの名によって、あなたがたにお願いします。どうか皆が語ることを一つにして、仲間割れせず、同じ心、同じ考えで一致してください。11. 私の兄弟たち。実は、あなたがたの間に争いがあると、クロエの家の者から知らされました。12. あなたがたはそれぞれ、「私はパウロにつく」「私はアポロに」「私はケファに」「私はキリストに」と言っているとのこと。13. キリストが分割されたのですか。パウロがあなたがたのために十字架につけられたのですか。あなたがたはパウロの名によってバプテスマを受けたのですか。」祈りましょう。

さて、コリントの教会では何が起こっていたのでしょうか。教会は異なる派閥に分裂していました。2週間前にデクスターさんが説教してくださった通り、バプテスマは神の民を一つにするためのものです。キリストに従い、キリストの教会として一つになることを公に示す、服従のしるしでありました。ですが、コリントの人々はバプテスマを神の民を分裂するために用いていました。誰にバプテスマを授かったのかや、信仰的にどの人に属するのかといったことでお互いを分けていたのです。ある人たちはパウロにつくと言いました。また別のグループはアポロに、そしてもう一つのグループはケファ、つまりシモン・ペテロにといった具合です。問題の深刻さは、パウロが14-15節で「14. 私は神に感謝しています。私はクリスポとガイオのほか、あなたがたのだれにもバプテスマを授けませんでした。15. ですから、あなたがたが私の名によってバプテスマを受けたとは、だれも言えないのです。」と言うほどでした。パウロは事実、自分が今以上教会の分裂の原因にならないよう、コリントのもっと多くの人々にバプテスマを授けなかったことを感謝しています。

コリントの教会が、神が教会に望まれる一致を失ってしまった原因は何だったのでしょうか。第一の理由は、パウロが4:18で思い上がっている人たちと言っているように、**個々人のプライド**です。コリントの人たちは信者の間で、自分たちの考える序列について議論していたのです。神の知恵に基づくのではなく、**この世的な知恵に基づいた考え方をしていたのです。**2:1-5でパウロはこう言っています。「1. 兄弟たち。私があなたがたのところに行ったとき、私は、すぐれたことばや知恵を用いて神の奥義を宣べ伝えることはしませんでした。2. なぜなら私は、あなたがたの間で、イエス・キリスト、しかも十字架につけられたキリストのほかには、何も知るまいと決心していたからです。3. あなたがたのところに行ったときの私は、弱く、恐れおののいていました。4. そして、私のことばと私の宣教は、説得力のある知恵のことばによるものではなく、御霊と御力の現れによるものでした。5. それは、あなたがたの信仰が、人間の知恵によらず、神の力によるものとなるためだったのです。」コリントの人々は、世間では愚かと思われても、キリストに信仰と希望を置いて神から賢いとされるよりも、この世的な権力や知恵の基準に基づいて自分の立ち位置を主張していたのです。

コリントの教会が不一致に陥ったもう一つの理由は、**教会員が自分たちのアイデンティティがキリストにあることを忘れてしまったから**でした。コリント人への手紙第一 3:16には「あなたがたは、自分が神の宮であり、神の御霊が自分のうちに住んでおられることを知らないのですか。」とあります。パウロは続けて21節から4:1でこう言っています。「21. ですから、だれも人間を誇ってはいけません。すべては、あなたがたのものです。22. パウロであれ、アポロで

あれ、ケファであれ、また世界であれ、いのちであれ、死であれ、また現在のものであれ、未来のものであれ、すべてはあなたがたのもの、23. あなたがたはキリストのもの、キリストは神のものです。4:1.人は私たちがキリストのしもべ、神の奥義の管理者と考えるべきです。」信者として、私たちはこの世の会衆や人間の指導者との関わりをはるかに超える関りを持っています。私たちはキリストに属しているのです。自分の罪を悔い改め、イエス・キリストにある救いを信じた者たちの内には神の聖霊が住まわれているのです。ですからパウロは、あなたは神の宮、神の住まわれる場所であると言っているのです。それだけにとどまらず、キリストのしもべ、神の奥義の管理者としてみなされるのだと言っています。私たちは神のみ言葉が託され、神が啓示されたことを他の人たちに教えるよう求められているのです。

ピリピ人への手紙 2:1-4 でパウロは教会のあるべき姿についてこう述べています。「1.ですから、キリストにあって励ましがあ、愛の慰めがあ、御霊の交わりがあ、愛情とあわれみがあるなら、2. あなたがたは同じ思いとなり、同じ愛の心を持ち、心を合わせ、思いを一つにして、私の喜びを満たしてください。3. 何事も利己的な思いや虚栄からするのではなく、へりくだって、互いに人を自分よりすぐれた者と思いなさい。4. それぞれ、自分のことだけでなく、ほかの人のことも顧みなさい。」それは、コリントの人々が信仰の土台であるべきイエス・キリストを忘れ、互いに競い合うようにしていた姿とは全く異なるものです。

同じようなことが YIBC でも起こり得るか、あるいは起こっていないか、と私たちは自らに問う必要があります。心を守らなければ、私たちにも分裂につながるような要因があるのです。私たちも聖書の知識や信仰上のつながりといったものに基づいて自分を区別することができます。このような国際的な教会においては、国籍や民族の違いによって区別することもできます。教会において、自分が考える様々な働きの重要性に基づいて、自分の立ち位置を認識することもできるでしょう。たとえ教会においてあまり言い争いなどなかったとしても、ないことを祈りますが、皆さんにお尋ねします。神を誇りとされていますか、それとも人を誇りとしていますか。自分自身が神の宮であるという自覚を持って行動していますか。み言葉の忠実な管理者でおられるでしょうか。ピリピ人への手紙 1:27 でパウロはこう言っています。「ただキリストの福音にふさわしく生活しなさい。そうすれば、私が行ってあなたがたに会うにしても、離れているにしても、あなたがたについて、こう聞くことができるでしょう。あなたがたは霊を一つにして堅く立ち、福音の信仰のために心を一つにしてともに戦っている」私たちは福音のために互いに努力し合っているでしょうか。皆さん、私たちがコリントの人々と同じような問題を抱えていないことを願い祈っていますが、私たちも彼らと同じような過ちからそれほど遠くない所にいるかも知れません。

パウロは、このような分裂がコリントの教会に与えた二つの深刻な影響について述べています。一つ目は 3:1-4 にあるように、**教会が霊的な成長をできずにいた**ということです。「1.兄弟たち。私はあなたがたに、御霊に属する人に対するようには語るができずに、肉に属する人、キリストにある幼子に対するように語りました。2. 私はあなたがたには乳を飲ませ、固い食物を与えませんでした。あなたがたには、まだ無理だったからです。実は、今でもまだ無理なのです。3. あなたがたは、まだ肉の人だからです。あなたがたの間にはねたみや争いがあるのですから、あなたがたは肉の人であり、ただの人として歩んでいることにならないでしょうか。4. ある人は「私はパウロにつく」と言い、別の人は「私はアポロに」と言っているのであれば、あなたがたは、ただの人ではありませんか。」息子のカイが生まれたとき、他の赤ちゃんと同じように私たちもミルクを与えました。まだ固形食を食べる準備ができていなかったの、食べることが出来なかったからです。でも今は、固形食を食べ始める月齢となりました。それは彼にとって健康的なことで、成長の助けとなるものです。コリントの教会は、プライドと言い争いゆえにパウロが「固い食物」と比喻しているものを受け取ることができず、成長することができなかったの

です。福音の基本であるミルクを受け続ける事はできます。ですが、この教会は神が御言葉を通してご自身のご性質と知恵を明らかにされるにつれ与えられる、靈的な成長と成熟を逃してしまっていました。

このような分裂が教会に与えた二つ目の影響は3章の後半に書かれています。10-11節を読みましょう。パウロはこう言っています。「10. 私は、自分に与えられた神の恵みによって、賢い建築家のように土台を据えました。ほかの人がその上に家を建てるのです。しかし、どのように建てるかは、それぞれが注意しなければなりません。11. だれも、すでに据えられている土台以外の物を据えることはできないからです。その土台とはイエス・キリストです。」皆さん、神の御心を成し遂げるために働くとき、キリスト以外にその土台を置くことはあり得ません。ですが、コリントの人々はまさにそうしようとしていたのではないのでしょうか。パウロやアポロやペテロにその土台を置こうとしていたのです。更に19-20節を読み進めましょう。「19. なぜなら、この世の知恵は神の御前では愚かだからです。「神は知恵のある者を、彼ら自身の悪巧みによって捕らえる」と書かれており、20. また、「主は、知恵のある者の思い計ることがいかに空しいかを、知っておられる」とも書かれています。」コリントの教会の人々は、この世の知恵に従って行動していました。ご自身を低くされ、仕える者として世に来られた神に土台を置くのではなく、初代教会の指導者たちの中で評判の良い人たちとの繋がりをより強く意識することを選びました。ですがパウロはこの世の知恵は無益であると教えています。皆さん、私たちが神の御国のために努力しているつもりであっても、プライドを持ったままキリスト以外に土台を置いているなら、その働きは無意味です。このことは詩篇127:1にも示されています。「主が家を建てるのでなければ建てる者の働きはむなし。主が町を守るのでなければ守る者の見張りはむなし。」理に適っていますよね。互いに愛し合っていないのに、どのようにこの教会が神の愛を世に示すことが出来たでしょうか。互いに争い、競い合うことに忙しいのに、どうやって靈的な賜物を用いて互いに仕えることが出来たでしょう。

では、今日、私たちは神のみ言葉にどのように応答すべきなのでしょう。まずは1:28-31でパウロが語ったことを思い出し、私たちのうちにある分裂とプライドの高さを悔い改めなくてはなりません。「28. 有るものを無いものとするために、この世の取るに足りない者や見下されている者、すなわち無に等しい者を神は選ばれたのです。29. 肉なる者がだれも神の御前で誇ることがないようにするためです。30. しかし、あなたがたは神によってキリスト・イエスのうちにあります。キリストは、私たちにとって神からの知恵、すなわち、義と聖と贖いになりました。31. 「誇る者は主を誇れ」と書いてあるとおりになるためです。」私たちがキリストを誇るとは、他の何かや誰かを誇るのとは訳が違います。キリストを誇るとは、キリストがどのようなお方であり、何をして下さったのかを大胆に宣言することです。30節で先ほど読んだように、知恵となり、義と贖いになられたのはキリストなのです。私たちが主を誇りにするとき、自分たちが神の命令に背を向けた罪人であり、かつて神に反抗していた者であることも宣言しているのです。ですがローマ人への手紙5:8にあるように「しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死なれたことによって、神は私たちに対するご自分の愛を明らかにしておられます。」キリストが不敬虔な私たちのために死んでくださったのは、私たちの義となり、私たちが聖なる完全な神の御座の前に罪のない者として立つことができるようになります。キリストを誇るとき、私たちは受ける値もなかった、ただ無償で受けただけの神の偉大な愛を宣言しているのです。神が私たちを呼び寄せて下さり、救って下さり、聖別（私たちの心を変えて下さった）してくださったので、キリストを誇ることでその手柄を自分ではなく神に帰しているのです。ですから、私たちができることの一つは、謙虚になり、私たちが神の子となれたのは、自分の知恵や働きによるのではなく、神の愛と恵みと憐れみによるのだということを感じる事です。

また、今日の聖書箇所から、この世における神の働き手として共に働くときに与えられている自分の役割を受け入れる事です。3:5-9 でパウロはこう言っています。「5. アポロとは何なのでしょう。パウロとは何なのでしょう。あなたがたが信じるために用いられた奉仕者であって、主がそれぞれに与えられたとおりのことをしたのです。6. 私が植えて、アポロが水を注ぎました。しかし、成長させたのは神です。7. ですから、大切なのは、植える者でも水を注ぐ者でもなく、成長させてくださる神です。8. 植える者と水を注ぐ者は一つとなって働き、それぞれ自分の労苦に応じて自分の報酬を受けるのです。9. 私たちは神のために働く同労者であり、あなたがたは神の畑、神の建物です。」ここに霊的成長の姿をみることができます。パウロとアポロは信仰の種を植え、失われた魂という土壌に水を注ぐ忠実な奉仕者でした。神のみ言葉の真実を人々に伝えることに忠実でした。ですが、パウロの言葉に注目してください。霊的な成長を与えることが出来るのは神だけです。パウロとアポロに目を向けてください。彼らは互いに競い合っているわけではありません。一つになって共に働いているのです。私たちもそうでなくてはなりません。

今日最後の応答は、キリストが教会の頭であるという知識と信仰に基づいて生き、行動するという事です。このことについては3:11 で読みましたが、エペソ人への手紙 4:4-6 にも見ることができます。そこではパウロはこのように言っています。「4. あなたがたが召された、その召しの望みが一つであったのと同じように、からだは一つ、御霊は一つです。5. 主はひとり、信仰は一つ、バプテスマは一つです。6. すべてのものの上にあり、すべてのものを貫き、すべてのもののうちにおられる、すべてのものの父である神はただひとりです。」

今日のメッセージのほとんどは、神に選ばれ、罪を悔い改めてイエス・キリストを救い主として従うと応答した人たち、つまり教会に対してのものであります。ですが、今日ここにおられる、まだ信じておられない、クリスチャンではない方たちにも語られたメッセージがここにあります。マタイの福音書 7:24-27 でイエスはこのように言われました。「24. ですから、わたしのこれらのことばを聞いて、それを行う者はみな、岩の上に自分の家を建てた賢い人にたとえることができます。25. 雨が降って洪水が押し寄せ、風が吹いてその家を襲っても、家は倒れませんでした。岩の上に土台が据えられていたからです。26. また、わたしのこれらのことばを聞いて、それを行わない者はみな、砂の上に自分の家を建てた愚かな人にたとえることができます。27. 雨が降って洪水が押し寄せ、風が吹いてその家に打ちつけると、倒れてしまいました。しかもその倒れ方はひどいものでした。」もしあなたがこの世の知恵によって人生を歩み、イエス・キリスト以外の土台の上に人生を築くなら、イエス・キリストという堅固な岩の上ではなく、砂の上に自分の家を建てた愚かな人のようなものなのです。その人と同じように、あなたも神から離れ、破滅に向かっているのです。事実、今日ここにいる私たちは皆、罪を犯しました。神に背き、自分の欲望に従って、神の完ぺきな基準と自分の生き方との間に日本語でいう「ずれ」を経験しました。自分たちの力では絶望的な状況にありました。ローマ人への手紙 6:23 には「罪の報酬は死です。しかし神の賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。」とあります。ですが、神はご自分の正義が満たされるよう、私たちの罪の罰を受けるために神のひとり子であるイエスを遣わされました。ヨハネの手紙第一 1:9 には「もし私たちが自分の罪を告白するならば、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、私たちをすべての不義からきよめてくださいます。」とあります。あなたが自分の罪を悔い改め、自分の思い通りに生きるのではなく、信仰をもって神の方に向かうなら、神はあなたが受けるべき罪の記録を消し去り、神の家族である教会に子どもとして迎え入れ、永遠の命を与えてくださいます。そのことについて質問がある方、共に祈って欲しい方は、礼拝後どうぞ私や執事、教会員にお声掛け下さい。祈りましょう。

1 Corinthians 1:11-4:21 Divisions in the Church

Good morning! First of all, thank you very much for the opportunity and privilege of being able to preach today. We'll be continuing our study of the book of 1 Corinthians by looking at chapter 1 verse 10 through the end of chapter 4. Though other sermons will break up this passage into smaller parts, today we're going to continue reading about a theme that stretches over these four chapters that Dexter introduced two weeks ago: divisions and disunity within the church. As we begin, let's read **1 Corinthians 1:10-13**. **10 I appeal to you, brothers, by the name of our Lord Jesus Christ, that all of you agree, and that there be no divisions among you, but that you be united in the same mind and the same judgment. 11 For it has been reported to me by Chloe's people that there is quarreling among you, my brothers. 12 What I mean is that each one of you says, "I follow Paul," or "I follow Apollos," or "I follow Cephas," or "I follow Christ." 13 Is Christ divided? Was Paul crucified for you? Or were you baptized in the name of Paul?** Let's go before the Lord in prayer.

So, what is happening in this church of Corinth? This church was dividing itself into different factions. Baptism, as we heard Dexter preach on two weeks ago, is meant to be a unifier of God's people. It's intended to be an external sign of obedience, showing that we follow Christ and are unified as His church. Instead, the Corinthians were taking baptism and using it as a way to divide God's people. People in the church were aligning themselves with whoever had baptized them or who they considered part of their "spiritual heritage." One group was saying they followed Paul. Another group was identifying with a man named Apollos, and another Cephas, whom we better know as Simon Peter. The problem is bad enough that Paul says in **verses 14 and 15**: **14 I thank God that I baptized none of you except Crispus and Gaius, 15 so that no one may say that you were baptized in my name.** Paul is actually thankful that he didn't baptize more of the Corinthians, so that he would not be a further cause of division.

So, what's causing this church of Corinth to miss out on the unity that God desires for His church? The first reason is **individual pride** as we see when Paul calls this church arrogant in 4:18. The Corinthians were arguing over a perceived hierarchy among believers. They were thinking in terms of **worldly wisdom** rather than godly wisdom. In **chapter 2 verses 1-5**, Paul says: **1 And I, when I came to you, brothers, did not come proclaiming to you the testimony of God with lofty speech or wisdom. 2 For I decided to know nothing among you except Jesus Christ and him crucified. 3 And I was with you in weakness and in fear and much trembling, 4 and my speech and my message were not in plausible words of wisdom, but in demonstration of the Spirit and of power, 5 so that your faith might not rest in the wisdom of men but in the power of God.** Instead of putting their faith and hope in Christ, something the *world* might consider foolish, but *God* calls wise, the Corinthians were claiming status based on worldly standards of power and wisdom.

Another reason the church of Corinth fell into disunity was that its members **forgot their identity in Christ**. **1 Corinthians 3:16** says **16 Do you not know that you are God's temple and that God's Spirit dwells in you?** Paul continues in verse 21 through 4:1, **21 So let no one boast in men. For all things are yours, 22 whether Paul or Apollos or Cephas or the world or life or death or the present or the future—all are yours, 23 and you are Christ's, and Christ is God's. 4:1 This is how one should regard us, as servants of Christ and stewards of the mysteries of God.** As believers, we have so much more than association with an earthly congregation or human church leader. We belong to Christ. And those of

you who have repented of your sin and trusted in Jesus Christ to save you have God's Spirit living in side of you. That's why Paul says you are God's temple—the place where God dwells. Not only that, but you are to be regarded as servants of Christ and as stewards of the mysteries of God. We are entrusted with God's word and charged with teaching others what He has revealed.

In [Philippians 2:1-4](#), Paul writes to the Philippians and describes what a church should look like, [1 So if there is any encouragement in Christ, any comfort from love, any participation in the Spirit, any affection and sympathy, 2 complete my joy by being of the same mind, having the same love, being in full accord and of one mind. 3 Do nothing from selfish ambition or conceit, but in humility count others more significant than yourselves. 4 Let each of you look not only to his own interests, but also to the interests of others.](#) This is quite different from how the Corinthians were acting, competing with each other because they forgot the foundation of their faith—Christ Jesus.

We should ask ourselves, could this happen or is this happening at YIBC? There are certainly factors that could lead to divisions if we don't guard our hearts. We could distinguish ourselves based on our own spiritual heritage or our knowledge of the Bible. In such an international church, we could divide ourselves based on different nationalities or ethnicities. We could even presume status based on the perceived importance of different ministry roles in the church. Even if we don't have much quarrelling going on in our church, and I pray that we don't, let me ask you: do you boast in God or in man? Do you act in the knowledge that you are God's temple? Are you a faithful steward of the Word? In [Philippians 1:27](#), Paul says [27 Only let your manner of life be worthy of the gospel of Christ, so that whether I come and see you or am absent, I may hear of you that you are standing firm in one spirit, with one mind striving side by side for the faith of the gospel.](#) Do we strive beside each other for the sake of the gospel? Friends, though I hope and pray we don't have these same problems that the Corinthians had, we may not be so far from some of their same mistakes.

Paul writes about two sobering impacts that these divisions were having on the Corinthian church. The first is that **the church was missing out on spiritual growth** as we see in [3:1-4](#): [4 But I, brothers, could not address you as spiritual people, but as people of the flesh, as infants in Christ. 2 I fed you with milk, not solid food, for you were not ready for it. And even now you are not yet ready, 3 for you are still of the flesh. For while there is jealousy and strife among you, are you not of the flesh and behaving only in a human way? 4 For when one says, "I follow Paul," and another, "I follow Apollos," are you not being merely human?](#) When my son Kai was born, like all babies, we gave him milk. He wasn't ready for solid food yet and couldn't handle eating it. But now, he's getting to the age where he's starting to eat solid food. It's healthy for him and is helping him grow. This church of Corinth, because of their pride and quarreling, couldn't receive what Paul metaphorically calls "solid food" that would help them grow. Yes, they still could receive the "milk," the very basics of the gospel, but this church is missing out on the spiritual growth and maturity that comes when God reveals more of His character and wisdom through His word.

The second impact that these divisions had on the church is later in [chapter 3](#). Let's read [verses 10-11](#). Paul says, [10 According to the grace of God given to me, like a skilled master builder I laid a foundation, and someone else is building upon it. Let each one take](#)

care how he builds upon it. **11 For no one can lay a foundation other than that which is laid, which is Jesus Christ.** Friends, when it comes to accomplishing God's will by doing God's work, there *cannot* be a foundation laid on anything *but* Christ. But that's exactly what these Corinthians were trying to do, isn't it? They claimed a foundation on Paul and on Apollos and on Peter. Let's look further down at **verses 19 and 20. 19 For the wisdom of this world is folly with God. For it is written, "He catches the wise in their craftiness," 20 and again, "The Lord knows the thoughts of the wise, that they are futile."** These people in the Corinthian church were playing by the rules of worldly wisdom. Rather than laying their foundation on the God who came to earth humbly and as a servant, they were choosing to identify more strongly with leaders in the early church who they felt had reputable status. But Paul tells us that worldly wisdom is futile. Church, we may think we are striving for God's kingdom, but **if we labor in pride and on a foundation other than Christ, our efforts are in vain.** We see this again in **Psalm 127:1** which says, **Unless the Lord builds the house, those who build it labor in vain. Unless the Lord watches over the city, the watchman stays awake in vain.** It makes sense, doesn't it? How can this church show God's love to the world when they don't even love each other? How can they use their spiritual gifts to serve each other when they're too busy fighting and competing with each other?

So, how should we respond to God's word today? First, we must **repent of our divisions and of our pride**, remembering what Paul says in **chapter 1 verses 28-31, 28 God chose what is low and despised in the world, even things that are not, to bring to nothing things that are, 29 so that no human being might boast in the presence of God. 30 And because of him you are in Christ Jesus, who became to us wisdom from God, righteousness and sanctification and redemption, 31 so that, as it is written, "Let the one who boasts, boast in the Lord."** When we boast in Christ, it's different than boasting in anything or anyone else. Boasting in Christ is boldly proclaiming who Christ is and what Christ has done. As we just read in verse 30, it's Christ who became wisdom; Christ who became righteousness, and sanctification, and redemption. When we boast in the Lord, we are proclaiming this; we are also proclaiming that we are sinners who had turned away from God's commands; we were once rebellious against Him. But as we read in **Romans 5:8, 8 but God shows his love for us in that while we were still sinners, Christ died for us.** He died for us, the ungodly, that he might *become* our righteousness so we could stand blameless before the throne of a holy and perfect God. When we boast in Christ, we're proclaiming His great love for us, who did nothing to deserve or earn it. But because God did the work of calling, saving, and sanctifying (changing our hearts), boasting in Christ does not bring credit to ourselves, but to Him. So, part of our response today is to **humble ourselves and remember that our status as God's children doesn't rest in our wisdom or work, but in God's love, grace, and mercy.**

Another response to today's passage should be to **embrace our roles in laboring together as God's workers on this earth.** In **chapter 3 verses 5-9** Paul says, **5 What then is Apollos? What is Paul? Servants through whom you believed, as the Lord assigned to each. 6 I planted, Apollos watered, but God gave the growth. 7 So neither he who plants nor he who waters is anything, but only God who gives the growth. 8 He who plants and he who waters are one, and each will receive his wages according to his labor. 9 For we are God's fellow workers. You are God's field, God's building.** Here we see an analogy of spiritual growth. Paul and Apollos were faithful servants who planted seeds of faith, who

provided water to the soil, to lost souls. They were faithful to share the truth of God's word to people. But note what Paul says. Only God can cause spiritual growth. And look at Paul and Apollos. They aren't competing with each other. They are laboring together as one, as we also must.

Our final response today is to **live and act in the knowledge and faith that Christ is the head of His church**. We read this in 3:11, and we see it again in the book of [Ephesians 4:4-6](#). There Paul writes, [4 There is one body and one Spirit—just as you were called to the one hope that belongs to your call— 5 one Lord, one faith, one baptism, 6 one God and Father of all, who is over all and through all and in all.](#)

Most of today's message has been targeted at the church, the people who God has chosen and who have responded in repentance for their sin and turned to follow Jesus Christ as their Savior. But to those of you here today who have not yet believed and are not Christians, there is a message here for you too. In the book of [Matthew 7:24-27](#), Jesus says, [24 "Everyone then who hears these words of mine and does them will be like a wise man who built his house on the rock. 25 And the rain fell, and the floods came, and the winds blew and beat on that house, but it did not fall, because it had been founded on the rock. 26 And everyone who hears these words of mine and does not do them will be like a foolish man who built his house on the sand. 27 And the rain fell, and the floods came, and the winds blew and beat against that house, and it fell, and great was the fall of it."](#) If you live your life based on worldly wisdom and you build your life on any other foundation than Jesus Christ, then you are like this foolish man who built his house on the sand, rather than on a firm foundation, the rock who is Jesus Christ. Like this man, you are also headed for ruin, apart from God. The truth is that all of us here today have sinned. We have disobeyed God; we have sought our own desires and have experienced a gap, in Japanese "zure," between God's perfect standards and the way we live our lives. In our own power, we were hopeless, and as Romans 6:23 tells us [23 For the wages of sin is death, but the free gift of God is eternal life in Christ Jesus our Lord](#). But God sent Jesus, His only Son to pay the punishment for our sin so that God's justice would be satisfied. 1 John 1:9 says, [9 If we confess our sins, he is faithful and just to forgive us our sins and to cleanse us from all unrighteousness](#). If you repent of your sins, and instead of living your way, turn towards God in faith, God will remove from your record the punishment you deserve for your sins and will adopt you into His family, the church, and give you eternal life. If you have any questions about that or want to pray together, please find me or any of the deacons or members here after the service. Let's pray.